

平成 26 年度教育類型・コース通信 県尼発、「先生」へのみち

教育総合類型（2、3年生）教育と絆コース（1年生）の1年間の活動の様子を紹介します。

うんぱくに参加しました（1年生）

10月25日(土)に尼崎運河博覧会(通称うんぱく)が北堀運河キャナルベースであり、1年35名が参加しました。吹奏楽部のオープニング演奏「音楽を楽しもう」の中で県尼レンジャー劇「運河を守る戦士たち!」を上演しました。うんぱくでの出し物はおめん作り、ぶんぶんゴマ、コイン落とし、サッカーボウリング、スーパーオカシすくい、バルーンアート、わなげ、創作紙芝居の上演などをしました。地域や保護者の方々など多くのお客様にお越しいただき、尼崎市長にも見学いただき、大変盛り上がりました!



どの班からも、「準備は大変だったけど楽しかった」「大勢の人が来てくれてよかった」などの感想が寄せられました。

インターピープルで舞台にたちました（1、2年生）

本校体育館で近隣の老人会や保育園の園児を招いて、世代を越えた交流会を開催しています。発表会では教育の1、2年生も舞台に立ちダンスを披露した、園児と一緒に踊ったりして交流を深めました。



金楽寺小学校で授業を参観しました (3年生)

10月16日(木)、金楽寺小学校で、授業がどの様に行われているのかを見学させていただきました。本校生徒たちは実際に授業する担当クラスに1時間入り、教科の勉強をはじめ、百人一首を行っているクラスの見学をしました。また、小学生を前に自己紹介や小学生からの質問に答える時間を作っていただいですぐに交流をはじめるクラスもありました。この授業参観終了後、本校生徒たちは模擬授業の組み立てに修正を加えたり、発問や板書の改善をするなど、積極的に取り組むことができました。



百人一首をしているところ



自己紹介をしているところ

金楽寺小学校で模擬授業をしました (3年生)

11月20日(木)、尼崎市立金楽寺小学校において、教育体験(授業)を行いました。小学校との打ち合わせ、教材の作成など準備・調整に多くの時間をかけて、いよいよ当日を迎えました。模擬授業当日は待機場所の図書室で説明を受けた後、清掃活動に参加することから始まり、その後の昼休みにはグラウンドで走り回ったり、教室で一緒に遊んだりするアイスブレイキングをしました。授業においては、生徒たちは緊張気味でしたが、小学生が積極的に参加してくれたこともあり、事前リハーサルと同じことができました。

5校時、10人ずつ4班に分かれ、以下の内容の授業を行いました。

- ・5年1組 国語 「季語を使って俳句をつくろう」
- ・5年2組 理科 「生命の誕生」
- ・6年1組 英語 「英語にふれあおう」
- ・6年2組 社会 「江戸時代について(詳しく)知ってもらおう」



生徒たちは「授業をする」ということの奥深さ、難しさ、楽しさを学ぶことができました。実習後、自分たちの授業の振り返りを行い、各自のレポートを冊子にまとめました。完成した指導案・使用した教材・模擬授業をした感想・小学生に書いてもらった感想・各班からのコメントなどを掲載しました。

関西国際大学で授業が始まりました

(2年生)

関西国際大学にて「教職概論」という講義を大学生に交じり、受講させて頂いています。計10回に亘る講義では、教職のあり方や教師像を形成した歴史的・社会的背景から現在の教師が抱える問題や現代社会における教職の特徴について講義を受けました。また、講義中は、大学生とのグループワークを中心に進んでおり、教職に関する専門知識を学ぶだけでなく、大学生の勉強に対する真摯な態度に感銘を受け、しっかりとした考えを共有することで自らの考えの甘さを痛感するなど多くの刺激を得ることができる講義でした。さらに大学生と交流することで進学の問題を相談し、どのように勉強をしたかなどのアドバイスももらった生徒もおり、非常に意義のある時間を過ごすことができました。



関西大学インターンシップを実施しました

1年生

文学部2回生、南由紀子先生にHRと英語を受け持っていただきました。学級通信の原稿を書き発行し、昼休みに教室で生徒と一緒に昼食をとるなどの交流をしました。生徒と関わることで「教師になりたい」という気持ちをより強くしていただいた一方で、生徒たちも教師をめざす大学生と交流する中でたくさん学ぶことができました。



2年生

総合情報学部1回生、田畑翠夏先生にHRを受け持っていただきました。田畑先生は公民と情報が専門なので、公民は3年生、情報は1年生の授業を担当されていました。

3年生

外国語学部3回生、日野康志先生にHRと英語を担当していただきました。生徒たちと歳が近いということもあり、生徒はとても接しやすかったようです。

クラスとしては、模擬授業に向けた準備をすすめている時期でもあったため、同じ教職を目指す先輩からのアドバイスを頂くことができ、大変有意義な時間となりました。

関西大学を訪問しました (1年生)

11月27日(木)、3限から関西大学を訪問しました。文学部・教育文化専修の若槻健先生による模擬講義をはじめ、学食体験や概要説明、キャンパスツアーなど多くのプログラムをご用意していただき、生徒たちにとって教育や大学の様子を知る良い機会となりました。インターンシップで本校に来られていた南先生とも再会できました。



生徒たちからは、「広くてびっくりした」「楽しかった」「大学や教育について知ることができてよかった」などの感想が寄せられました。

月刊高校教育「ちょっと拝見学校訪問」に活動が特集記事として掲載されました

関西大学文学部准教授若槻健先生が月刊高校教育に本校の教育と絆コース(1年)、教育総合類型(2, 3年)の活動内容の様子をまとめて記事にさせていただきました。若槻先生は記事の内容を考えていく中で教育のコースを持つ学校はめずらしいと本校のホームページの教育の通信を読まれて取材にこられました。本校で半日取材をされて沿革と概要から教育コースの成り立ち、教育コースの活動内容、成果とこれからについてわかりやすく要点をまとめていただきました。若槻先生から、教育コースに対して模擬授業をしてもいいという約束をいただき、11月27日の関西大学に大学訪問において実施されました。

こどもクラブで実習をしました (3年生)

1学期に、尼崎市内20校の小学校の子どもクラブで計3回の実習をさせていただきました。生徒たちは二人ずつそれぞれの子どもクラブで実習を行い、絵本を読んだり、ゲームをしたり、教室の壁面のディスプレイをしたり積極的に小学生に関わろうと奮闘し、有意義な実習時間を過ごすことができました。実習終了後、生徒の感想文には単に小学生と過ごして楽しかったというもの以上に、指導員の方の言葉や態度からその意図をくみ取ろうとしている姿勢が強く感じられ、前向きに実習に取り組んでいた様子でした。



大学の先生による講義を受講しました

(1年生、2年生)

1年生

毎週木曜日の7限「教育ナビ」という授業の中で1学期には3名の大学の先生方にご来校いただき、講義を受講しました。テーマも講義によって異なり、いずれも大変勉強になりました。

5/15

松田智子先生
奈良学園大学



6/19

中川香子先生
聖和短期大学



6/26

堀 裕子先生
大阪人間科学大学



「教師のやりがいと苦しみ」「子どもの創造性を育てる」「子どもの心に響く音・表現遊び」

1月 大阪総合福祉専門学校 山本 栄子先生 「福祉保育レクレーション」

2月 大阪人間科学大学 堀 裕子先生 「保育・幼児教育について」

「楽しかった」「知らないことを知れてよかった」「教師になりたい気持ちが強くなった」などの感想が寄せられました。また、これらの講義を通して生徒たちの「話をきく姿勢」が育まれているように感じられました。

2年生

6月19日 甲子園短期大学、上田 智佳先生「保育者とは／ハンドベルにおける音楽表現」

最初に、保育者の仕事について学びました。幼稚園と保育所では学ぶ内容も違えば、取得しなければいけない免許や資格が違うということ。また、保育者に求められることは『人柄』『保育の技術』『学ぶ姿勢』が重要であるということを教えていただきました。

次に、ハンドベルを教えて頂き、最後には実際にハンドベルを使って班ごとに演奏をしました。初めて触ったという子が多く悪戦苦闘していましたが、終わった後の感想では、「班で演奏してみて、人と協力してすることの大切さや自分の音の役割の大切さなど、楽しさもあり、少し難しさもあって良かった」「最初はバラバラだったけど、徐々に合ってきてちゃんと曲になったときは嬉しかった」というものがありました。



6月26日 甲子園短期大学 堀内 泉先生「福祉のコミュニケーション」

今回は普段使っているコミュニケーションについての講義でした。

まず、2人組になって、お互いに良いところを言ってあげる。ということをしました。教室で一緒にいる仲間ですが、相手の良いところは思っても普段は言わないことだと思います。そこを敢えて言ってあげる。皆、恥ずかしさや照れがある様子でしたが、言われた後は嬉しそうな表情を浮かべていました。次に、紙に書いた図形を言葉だけで相手に



伝えるという実技では、なかなかうまく伝えることが出来ず、伝えることの難しさというものを実感している様子でした。言い方次第で相手の捉え方は大きく変わるし、聞く態度や視線など、言葉以外にも自分の気持ちが相手に伝わるということを教えて頂きました。

今まで「コミュニケーション」ということに対してあまり考えたことがなかったですが、今回の講義で改めてコミュニケーションの重要性というものを学ぶことができました。

9月4日 甲子園短期大学 新家 智子先生「子どもの遊び&手作り遊び」

まず、『手』の重要性について学びました。あらゆるものが機械化・自動化されたために、最近では手、特に指先を使わなくなってきている傾向にあります。しかし、手を使うことは重要なことで、手には

- ①作業するための手
- ②コミュニケーションをとるための手
- ③生命を守るための手

などの働きがあります。また、指先を動かすことで脳も活性化されるということで、手の重要性を学んだ後に、楽しみながら指先を使う遊びの代名詞、折り紙を教えてくださいました。折り紙を触ること自体が久しぶりなことだったようで、楽しみながら様々なものを作っていました。

手遊びや折り紙など、ただ遊んでいるだけのように思えるものでも、実はしっかりとした考えがある上で実施しているということを学ぶことができました。



2月12日 大阪総合福祉専門学校 総合福祉学科 西口 裕久子先生
「保育・幼児教育系体験実習」

2月19日 湊川短期大学 幼児教育保育学科 田邊 哲雄先生
「保育・幼児教育・教育学系模擬講義（体験的な内容を含む）」

キンボール！をしました

（2年生）

キンボールとは、多くの人をスポーツに導くには、個人の能力の優劣や、経験を問わず、誰もが気楽にスポーツの楽しさを分かち合い、スポーツマンシップを学ぶことができる新しいスポーツとして1986年カナダのケベック州で考案されたものです。

キンボールは写真のような直径122cm、重さ1kgの大きくて軽いピンクのボールを使います。その大きなボールをヒットし、キャッチし、得点を争うのですが、ここで重要なことは、

チーム毎はもちろんですが、相手チームともコミュニケーションをとらなければ試合が進んでいかないということです。みんなと声を掛け合い、作戦を練り、全身を使って全力プレーしていきます。体を動かすこととコミュニケーションを融合させた運動なのです。そのキンボールを通して、様々なことを学ぶことができたようです。

- ・ キンボールというのは、いかにチームの人とコミュニケーションを取り、正々堂々と戦い、楽しみ合いながら試合に臨むことが大切だと感じました。このキンボールは保育師になった時、実際に使ってみようと思っています。
- ・ クラスの子との会話が增えたり、チームの人と協力しあったり、頭を使ったり、キンボール一つで色々なことができた。将来、教育者になった時、キンボールを使って、たくさんの遊びが出来たら良いと思いました。



神戸大学の学生との交流会を実施しました

(3年生)

神戸大学の学生は本校の授業見学の後、本校生徒と交流会を行いました。
3年生は受験の年ということもあり、大学の様子や学生生活、受験勉強の取り組み方などを熱心に質問していました。



新聞の読み方講座を受講しました

(1年生)

11月6日、13日と12月4日には朝日新聞社の熊野諒氏を講師にお迎えして、「新聞の読み方講座」を受講しました。11月6日から12月4日まで朝刊を配達していただき、気になった記事をスクラップブックに貼ってまとめました。授業では、新聞の取材から編集、印刷など紙面の構成について学び、天声人語の書き写しなどをしました。本校の授業の様子が取材を受け、阪神版の新聞の紙面に掲載されました。生徒たちからは、「とても勉強になった」「これを機会に新聞を読みたい」などの感想が寄せられました。

後日、「声」の欄に投稿すると選考されて1名紙面に掲載されました。



植樹体験を尼崎の森で実施しました

(2年生)

7月14日 尼崎の森中央緑地パークセンターを訪問し、県尼が代々植樹している区画「県尼の森」の整備をさせて頂きました。植樹した苗は、里親制度を利用して本校で育てた苗です。まず会場で係の方から植樹の意図や作業方法を説明して頂きました。実際に現場まで行くと雑草は背の高さぐらいまで成長しており、抜く作業はかなりの体力勝負でした。虫が出てきたり、トゲがあったりして大変なこともありましたが、整備後に担当した区画はとてもきれいになり、満足のいく活動となりました。



3月2日(月) 尼崎の森中央緑地・はじまりの森パークセンターを訪問し、環境体験学習として県尼が代々植樹している区画「県尼の森」での植樹と、はじまりの森にすでに植樹されて8年になるエノキやムクノキの間伐をさせて頂きました。

最初は尼フォレストの会の高木会長から植樹の意図や作業方法を説明して頂き、その後、38名を2班に分けて作業を実施しました。植林ではエノキを植樹しましたが、養生シートをカマで切ると、中から色とりどりの虫が大量に出てきて生徒は仰天していました。ポットから苗を出して、根の部分をはぐし、苗とちょうどの深さに掘って植えるという作業を説明通り1つ1つ丁寧に組みました。間伐では、あらかじめ切る木に赤いリボンでしるしが付けてあり、その木の根元からのこぎりでの切り、枝をはさみで落とし、最後は約1メートルになるように切っていました。

今回は作業だけでなく、二酸化炭素固定量の算出をして最後は木の吸収量と人間や自家用車が排出する二酸化炭素量との比較をするなどの学習活動も行いました。

森の大切さや木を守る努力が必要なことを学ぶ、良い体験となりました。



高木会長から説明を聞いているところ



植樹しているところ



間伐をしているところ



間伐した木を1mの長さに切っているところ

歴史の旅 in 尼崎～北から南へ に参加しました (1年生)

本校元校長・正岡茂明先生主催の「歴史の旅 in 尼崎」の事前フォーラムに6名参加し、歴史旅当日は35名がボランティアとして参加しました。3日間の日程を3班にわかれて、最後尾を歩きました！



11/2 阪急塚口駅→富松城址→富松神社→尾浜八幡神社→七松八幡神社→JR立花駅



11/9 阪神出屋敷駅→貴布祢神社→寺町散策→尼信会館→阪神尼崎駅



11/30 立花駅→水堂須佐男神社→松原神社→難波熊野神社→難波八幡神社→阪神尼崎駅



3日間とも、「尼崎の歴史を知られてよかった」や「他のボランティアにも参加したい」などの感想が寄せられました。

高等学校魅力・特色づくり活動発表会に参加しました（2年生）

2月7日（土）に2年生4名が神戸ハーバーランド、スペースシアターで開催された、「高等学校魅力・特色づくり活動発表会」にステージ部門の6校とポスターセッションの30校の参加があり。本校はポスターセッションの部に参加しました。

発表は計2回行い、内容は、「うんぱく」「インターピープル」「小学校での授業参観、模擬授業」「関西国際大学で講義受講」「関西大学インターンシップ」「高大連携」「キンボール」「神戸大生との交流会」など教育の授業の様子や地域での活動についてわかりやすく話しました。発表当日は兵庫県教育長の高井芳朗氏も来られており、本校の資料を手渡すことなどができました。有意義な一日となりました。



教育集会を開催しました

本年度から教育総合類型、教育と絆コースの1年から3年の生徒が一同に集まり、生徒の縦の学年の関係を作ることを目的に開催しました。

（第1回：7月16日・体育館）

「ワールドカフェ」と題して各学年から7～8名がグループをつくり、テーマを決めて話をしました。内容は県尼祭の反省からはじまり、運河博覧会、体育大会について2、3年生は各自の経験から下級生にアドバイスをし、下級生は上級生に質問をしていました。

雑談のような話しやすい雰囲気の中で1時間情報交換ができ、不安のあった行事や、競技等はどうすれば上位に加わることができるのか、その秘訣を直接聞くことができ有意義な時間でした。



(第2回：12月22日・視聴覚室)

2年生の担任である齊藤健太郎先生に講師になっていただき、昨年まで2年間、海外青年協力隊としてタンザニアに行かれていた時の活動についてパワーポイントを使用して講演いただきました。

タンザニアの街のビデオを鑑賞した後、齊藤先生の住んでおられた住居や勤務されていた学校の様子をみると、尼崎の環境とはまったく違い、住居からは草原の先に沈む大きな夕日が見え、学校は一人一人に机がなく地べたで学習している生徒がいるのを見て、生徒たちは自分の置かれている環境との違いにカルチャーショックを受けていました。生活において、マラリアには細心の注意を払い、寝室には蚊帳を張り、蚊が蚊帳の中に入ってきた時は蚊を退治するまで寝ることができなかつたそうです。また、マラリアにかからないための薬があるそうですが、その薬を飲むと悪夢をみるということだったので、齊藤先生は悪夢を見られなかつたそうです。また、齊藤先生は十分な備品の環境の中で学習できない生徒のために私費で備品を購入して学校に寄付されたそうです。その他、日本とは違う教育システムに戸惑いながら、現地に適応する努力をされたそうです。現地の食事は毎日豆料理が主体で毎日変わらないメニューだったそうですが、慣れるとなんともないということを言われていました。

異文化の生活や教育を知るいい機会になりました。



(第3回：3月9日・体育館)

3年生は卒業しているので、1、2年生だけの集会になりました。今回は2年生が先生役になって、1年生にキンボールのルールなどをレクチャーする会となりました。教えることの難しさ楽しさを知る機会にもなりました。

レクチャー後は、1年生対2年生で試合をして親睦を深めました。



卒業生の動向

教育総合類型の第1回生の1名は高等学校の教員採用試験に合格し、兵庫県立宝塚北高等学校の国語の教諭に決まりました。また、神戸市の小学校、大阪市の小学校の教員採用試験にも合格し、合格した生徒たちは、来年から教壇に立つことになりました。

その他、第1、2回生はすでに保育園や幼稚園の先生として多数勤務しており、第3回生においても保育園や幼稚園の就職が決まったという報告を聞いています。

